

くじゅうタデ原地域のプロフィール

タデ原は、阿蘇くじゅう国立公園内の飯田高原の南に広がり、標高は1,000mほど、面積約40ヘクタールの広大な湿地です。南方に、三俣山、指山、星生山、東方に黒岩山、泉水山がそびえ、湿原のほぼ中央を白水川が流れています。この地域は長者原と呼ばれ、山岳と高原が一体をなす優れた景勝地で、やまなみハイウェイ沿いにあり、近くには登山口や観光施設等もあり、毎年多くの観光客が訪れます。



阿蘇くじゅう国立公園は、熊本県の阿蘇火山一帯から大分県のくじゅう山群と飯田・久住高原、さらに奥別府までを含む広大な公園です。

大分県部分の公園区域は、九重町、久住町、別府市、湯布院町、庄内町、直入町、玖珠町に広がっています。

くじゅう山群山頂部にはミヤマキリシマやコケモモなど数多くの火山地特有の植物が見られ、貴重な動植物が数多く存在します。山岳と久住・飯田高原とがつくりだす雄大な景観は、花や緑、紅葉や雪景色など四季折々に変化して訪れる人々の目を楽しませてくれます。